

# 令和8年度 入学者教育課程表

A 表

(表 面)

教育局	空知	北海道砂川高等学校	全日制課程	学科	普通	第1学年の 学級数	2
-----	----	-----------	-------	----	----	--------------	---

教科	科目・標準単位数	学年 類型	1 年		2 年		3 年		計
			必修	必修	選択	必修	選択		
国 語	現代の国語	2	3						3
	言語文化	2	2						2
	論理国語	4		2		3			5
	文学国語	4							
	国語表現	4							
	古典探究	4							
	○発展国語	2					2		0~2
	○文学研究	2			2				0~2
地理 歴史	地理総合	2	2						2
	地理探究	3				3			0~3
	歴史総合	2		2					2
	日本史探究	3				3			0~3
	世界史探究	3							
公 民	公共 倫理	2		2					2
	政治・経済	2				3			0~3
	政治・経済	2				2			2
	○社会探究	2					2		0~2
数 学	数学Ⅰ	3	4						4
	数学Ⅱ	4			4				0~4
	数学Ⅲ	3							
	数学A	2		3					3
	数学B	2							
	数学C	2							
	○数学課題探究	3					3		0~3
	○実用数学	2				2			2
	○生活の数学	2					2		0~2
	○生活の数学	2					2		0~2
理 科	科学と人間生活	2							
	物理基礎	2			2				0~2
	物理	4							
	化学基礎	2		3					3
	化学	4							
	生物基礎	2	2						2
	生物	4							
	地学基礎	2				3			3
	地学	4							
	○応用物理	2					3		0~3
	○理科探究	2					2		0~2
	○実用科学	2					2		0~2
	保健 体育	体育	7~8	3	3		2		
保健		2	1	1					2
○生涯スポーツ		2			2				0~2
芸 術	音楽Ⅰ	2	2		2				0~2
	音楽Ⅱ	2		2			2		0~2
	音楽Ⅲ	2							
	美術Ⅰ	2							
	美術Ⅱ	2							
	美術Ⅲ	2							
	工芸Ⅰ	2							
	工芸Ⅱ	2							
	工芸Ⅲ	2							
	書道Ⅰ	2	2						0~2
	書道Ⅱ	2							
	書道Ⅲ	2							
	○演奏に親しむ	2					2		0~2
	○ペン習字	2			2				0~2
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	4						4
	英語コミュニケーションⅡ	4		3		3			6
	英語コミュニケーションⅢ	4							
	論理・表現Ⅰ	2			2				0~2
	論理・表現Ⅱ	2							
	論理・表現Ⅲ	2							
	○応用英語	2					2		0~2
○実用英語	2					2		0~2	
家 庭	家庭基礎	2	2						2
	家庭総合	4							
情 報	情報Ⅰ	2	2						2
	情報Ⅱ	2							
理 数	理数探究基礎	1							
	理数探究	2~5							

A 表

(裏面)

北海道砂川高等学校

全日制課程

学科

普通

教科	科目・標準単位数	学年 類型	1年		2年		3年		計
			必修		必修	選択	必修	選択	
	情報処理	2~4			4				0~4
商業	○文書処理	3					3		0~3
	○商業技術	3					2		0~2
家庭	フードデザイン	2~8					2		0~2
	○生活教養	2		2					2
看護	○看護総合	2					2		0~2
福祉	社会福祉基礎	2~6					3		0~3
体育	スポーツII	2~8					2		0~2
各学科に共通する各教科・科目の計			27	21	0~6	15	0~12		63~81
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			0	2	0~4	0	0~12		0~18
学校設定教科に関する科目の計			0	0	0	0	0		0
総合的な探究の時間 (砂高タイム)			3~6	2	2	2	2		6
合計			29	29	29	29	29		87
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1		3
教育課程に係るその他の事項									
卒業までに修得させる単位数			74 単位			卒業に必要な履修と修得の単位数		○ 1 分離している 2 分離していない	
学期の区分			○ 1 3学期制 2 2学期制			学期の区分ごとの単位修得の認定		○ 1 実施している 2 実施していない	
1単位時間の弾力化			○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を( )分×( )時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち( )日間を、1日当たり( )分×( )時間で実施]と、[1週のうち( )日間を、1日当たり( )分×( )時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他( )						
学校外における学修の単位認定			○ 1 実施している (③・④・⑤) 2 実施していない						
総合的な探究の時間の実施方法			○ 1 週時程に位置付けて実施する。 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。						
備考			(1) 1年次に芸術「音楽Ⅰ」を履修した者は、2年次で履修することはできない。 (2) 3年次の芸術「音楽Ⅱ」を履修するためには、「音楽Ⅰ」の履修を終えていなければならない。 (3) 2年次「○文学研究」「○ペン習字」は、まとめて履修しなければならない。 (4) 3年次「○演奏に親しむ」は、重複して履修することはできない。						

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。